



くれたけだより 秋号



新会長あいさつ

呉竹会 会長 櫻井 弘
(柔道整復科昭和38年卒業)

このたびの東日本大震災によって被災された皆様に衷心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復旧、復興を心からお祈り申し上げます。

五月二十九日、主婦会館プラザエフで開催された平成二十三年度呉竹会総会において、はからずも会長に推挙されました。この上は浅学菲才の身に鞭打って微力ながら母校ならびに呉竹会の発展のため努めてまいりました。四年間大活躍され大きな実績を残されました前会長の石森勇治先生には格段のご指導をお願い申し上げます。また、全国各地の呉竹会役員ならびに会員、教職員のみなさまには絶大なるご協力、ご支援のほどをお願い申し上げます。

本校は大正十五年に創立された業界屈指の歴史を誇る伝統校であります。初代理事長坂本貢翁の「最高の医療を届けたい」の建学の精神を現在の坂本歩理事長が見事に引き継がれ本校は元より横浜校、大宮校の充実、躍進ぶりには、目をみはるものがあります。

その内容においても、優秀な教師陣を揃え、その上で教育関連設備ならびに教育システムの徹底した充実ぶりには感服しております。例年、国家試験の合格率をみても全国トップクラスを維持し続けております。OBの一人としても嬉しい限りであります。

さて、私どもの業界も規制緩和、自由競争の厳しい環境の中で仕事そのものが多様化しております。本校におきましても柔道整復師の資格を取得してから鍼灸師の資格取得を目指す生徒、またその逆の生徒も多くおられます。そして、毎年四谷校舎で開催されております卒業臨床研修講座の充実した内容には卒業生にとって大いに役に立つものと確信します。

さらに、今年十月十四日に開催されます第二十三回呉竹医学会学術大会にも多くの卒業生が参加されますよう期待しております。結びに、全国の呉竹会会員皆様のお心からご発展とご活躍を心からお祈り申し上げます。

これからでも間に合う 卒後臨床研修講座

講座 / 開催日	講師 / 講義内容
スポーツ鍼灸 12月7・14日	山田 晃広 先生 (株)ロコ・ケア 取締役 日本人初となるスペインサッカーリーグ1部ラシン・サンタンデールのチームトレーナーの経験を持つ山田先生はプロで実績を積んだ技術を活かし、アスリートをはじめ一般の方を対象にしたボディケアやサッカー、野球、格闘技などの分野のプロ選手をサポートしておられます。今回はスポーツ障害あるいは予防に対する鍼灸治療を指導していただきます。
在宅リハビリ 1月11・18日	田中 正人 先生 理学療法士、東京医療専門学校非常勤講師 高齢化の時代を背景に、自宅介護を必要とされる方が増えている昨今、寝たきりにならないようにするため、また介護をする側の負担を少しでも軽減するため、患者の日常生活の自立を目指す運動法を学びます。

卒後臨床研修の申し込み方法

ホームページにある申込用紙をダウンロードしていただき、必要事項をご記入の上、FAXにてお申し込みください。ホームページからダウンロードができない場合は、お電話にてお問い合わせください(電話番号: 03-3341-4043)。受講料の入金方法につきましてもホームページに記載がございますので、合わせてご確認ください。各講座全日程に参加できる方に限ります。また申込が定員を超えた場合には抽選になることをご了承ください。

受講料: 各講座 6,000円
開催時間: 14時~17時

全日程、東京医療専門学校・四谷校舎にて行われます。



オイルマッサージ

オイルマッサージは、肌に直接行う施術として身体の変化、病変をいち早く見つけることができます。今回の講

平成23年度卒後臨床研修講座 中間報告

役立つ研修を提供していきます。今後多くのご参加をお待ちしております。

平成二十三年度卒後臨床研修講座ですが、八月末時点において、『美容鍼』・『オイルマッサージ』・『小児鍼』・『操体法』の講座を終えました。例年受講希望者の多い『美容鍼』・『小児鍼』・『操体法』は今年度も開催するとともに、昨年度各講座後に行われたアンケートで、開催希望の声が多かった『オイルマッサージ』を、「銀座ナチュラルタイム治療院」の院長である牧野寿枝先生を迎え、はじめて開催致しました。

また毎年好評を博しております『美容鍼』・『小児鍼』・『操体法』は今回も人数が満員になりました。どの講座も、少しでも多くの知識・手技を習得しようとする真剣な受講生の姿がそこにはありました。実技講習では、先生が受講生ひとりひとりの席を回り、直接指導を行っております。



美容鍼



小児鍼



操体法



主なニュース

- ・新会長就任
- ・東日本大震災ボランティア活動
- ・呉竹学園 創立85周年記念講演
- ・卒業生進路状況



発行所 呉竹会 〒160-0008 東京都新宿区三栄町3 東京医療専門学校内 TEL 03-3341-4043 http://www.kuretake.ac.jp

平成22年度 事業報告

1. 会員名簿の整備
2. 呉竹会基金の募集
3. 全国組織網の拡充
(イ)未組織支部の拡充
(ロ)発足支部会の活動援助(10支部)
4. 「呉竹誌」の発行
平成23年3月 第43号 2,000部
5. 「くれたけだより」の発行
平成22年5月 第30号 13,000部
6. 呉竹祭の開催
平成22年10月16日
7. 呉竹医学会への参加
平成22年10月15日
呉竹医学会発表 会員1名発表
(茨城県支部)
8. 鍼灸マッサージ教員養成科
卒業論文の贈呈
平成22年3月 75部
9. 功労者 表彰
平成22年5月30日
呉竹祭 実行委員長・副委員 2名
10. 平成22年度 東京医療専門学校
卒業式 呉竹会賞 表彰
平成23年3月18日
鍼灸マッサージ科 4名
鍼灸科 3名
柔道整復科 4名

平成23年度 事業計画

1. 会員名簿の整備
2. 呉竹会基金の募集
3. 全国組織網の拡充
(イ)未組織支部の拡充
(ロ)発足支部会の活動援助
(10支部)
4. 「くれたけだより」の発行
第31号・第32号
平成23年5月・10月発行
5. 呉竹祭の開催
平成23年10月15日
6. 呉竹医学会への参加
平成23年10月14日
呉竹医学会発表
会員1名発表
7. 鍼灸マッサージ教員養成科
卒業論文の贈呈
平成24年3月
8. 功労者 表彰
平成23年5月
呉竹祭 実行委員長・副委員
9. 平成23年度
東京医療専門学校
卒業式 呉竹会賞 表彰
平成24年3月16日

第43回 呉竹会総会を開催

5月29日



五月二十九日(日)、主婦会館プラザエフにて『第四十三回 呉竹会総会』・福田稔先生による講演会『自律神経免疫療法』を行いました。

また、呉竹会総会での議題でございました平成二十二年度事業報告・決算報告および平成二十三年度事業計画・予算について、次にご報告させていただきます。

講演会

自律神経免疫療法

講師：福田医院 院長
福田 稔 先生

五月二十九日(日)、『第四十三回 呉竹会総会』に続き、同会場 主婦会館プラザエフにて福田稔先生による講演会『自律神経



免疫療法』が開催されました。福田先生には、ストレス社会に生きる現代人の交感神経が過度に緊張し、顆粒球の増加を原因とする自律神経の乱れが健康に悪影響を及ぼしていることを説明して頂き、その上で顆粒球とリンパ球の割合と数を適正な範囲に戻すこと、つまり自律神経のバランスを回復させる自律神経免疫療法について、理論と実践方法をご教授頂きました。

参加者からは、明日の臨床に活かせるように多くの質問が寄せられ、熱気のある講演会となりました。

平成22年度 決算報告書

(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

平成23年度 予算

(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

収入の部 (単位：円)

費目	22年度予算	増減(決算-予算)	22年度決算	備考
1. 前期繰越金	1,080,421		1,080,421	
2. 運営活動準備金取崩	1,000,000		1,000,000	
3. 会費	6,180,000		6,180,000	新会員@30,000×206名
4. 預金利子	3,000	274	3,274	
5. 補助金	20,000,000		20,000,000	
6. 雑収入	200,000	270,626	470,626	
収入合計	28,463,421	270,900	28,734,321	

収入の部 (単位：円)

費目	22年度決算	23年度予算	備考
1. 前期繰越金	1,080,421	2,291,607	
2. 運営活動準備金取崩	1,000,000	0	
3. 会費	6,180,000	6,090,000	新会員@30,000×203名
4. 預金利子	3,274	3,000	
5. 補助金	20,000,000	25,000,000	
6. 雑収入	470,626	500,000	
収入合計	28,734,321	33,884,607	

支出の部

費目	22年度予算	増減(決算-予算)	22年度決算	備考
1. 運営費	3,160,000	-513,068	2,646,932	
(1)人件費	200,000	-91,430	108,570	
(2)一般経費	2,960,000	-421,638	2,538,362	
什器備品費	0		0	
機器保全費	0		0	
消耗品費	20,000	-20,000	0	
通信費	1,700,000	-492,369	1,207,631	くれたけだより他送料
交通費	600,000	-140,370	459,630	役員会他交通費
印刷費	600,000	270,261	870,261	くれたけだより他印刷費
会議費	20,000	-20,000	0	
雑費	20,000	-19,160	840	
2. 活動費	24,880,000	-1,084,218	23,795,782	
(1)総会費	1,200,000	-132,123	1,067,877	
(2)理事会費	50,000		50,000	
(3)呉竹祭費	1,200,000	-118,545	1,081,455	
(4)表彰費	150,000	-40,300	109,700	功労者表彰
(5)学校行事協賛費	60,000		60,000	柔道大会
(6)慶弔費	100,000	-33,250	66,750	
(7)広報費	0		0	
(8)学術研究費	20,000	-20,000	0	
(9)支部補助費	1,000,000		1,000,000	支部会事務費
(10)支部発足準備費	100,000	-100,000	0	
(11)学内同好会補助費	100,000	-40,000	60,000	同好会補助
(12)学内研究等補助費	500,000		500,000	
(13)校友会奨学金	20,400,000	-600,000	19,800,000	
3. 基金組入額	0		0	
4. 特別会計組入額	0		0	
運営活動準備	0		0	期末残高 0万円
90周年記念準備	0		0	期末残高 250万円
予備費/次期繰越	423,421	1,868,186	2,291,607	
支出合計	28,463,421	270,900	28,734,321	

支出の部

費目	22年度決算	23年度予算	備考
1. 運営費	2,646,932	3,540,000	
(1)人件費	108,570	200,000	
(2)一般経費	2,538,362	4,640,000	
什器備品費	0	0	
機器保全費	0	0	
消耗品費	0	0	
通信費	1,207,631	2,500,000	くれたけだより(総会のご案内)
交通費	459,630	600,000	役員会他交通費
印刷費	870,261	1,500,000	くれたけだより印刷費
会議費	0	20,000	
雑費	840	20,000	
2. 活動費	23,795,782	28,780,000	
(1)総会費	1,067,877	500,000	総会会場費、特別講演費用
(2)理事会費	50,000	50,000	
(3)呉竹祭費	1,081,455	1,000,000	
(4)表彰費	109,700	150,000	功労者表彰
(5)学校行事協賛費	60,000	60,000	柔道大会
(6)慶弔費	66,750	100,000	
(7)広報費	0	0	
(8)学術研究費	0	20,000	
(9)支部補助費	1,000,000	1,000,000	支部会事務費
(10)支部発足準備費	0	100,000	
(11)学内同好会補助費	60,000	100,000	5同好会
(12)学内研究等補助費	500,000	300,000	
(13)校友会奨学金	19,800,000	25,400,000	校友会推薦127名
3. 基金組入額	0	0	
4. 特別会計組入額	0	0	
運営活動準備	0	0	期末残高 0万円(見込)
90周年記念準備	0	0	期末残高 250万円(見込)
予備費/次期繰越	2,291,607	264,607	
支出合計	28,734,321	33,884,607	

上記のとおり報告いたします。

平成23年3月31日

会長 石森 勇治
副会長 近藤 昌之

基金受入状況

(昭和57年4月1日～平成23年3月31日)

(単位：円)

年度別	会員よりの受入		呉竹会より	受入合計	利息組入	基金合計
	人数	金額				
前年度繰越金	996	12,496,647	13,514,626	26,011,273	10,182,609	36,275,758
平成22年度	1	2,000	0	2,000	28,210	30,210
計	997	12,498,647	13,514,626	26,013,273	10,292,695	36,305,968

東日本大震災 ボランティア活動



生涯忘れないだろうし 忘れたくはない

鍼灸マッサージ科 平成20年卒業

菊川 大和

今年の一月に腰の手術をし、そのリハビリの為に歩くあても決めずに一人旅をして、帰った仕事に復帰するつもりでした。たまたま宮城県を選び、たまたまそれが三月十一日でした。

宮城県の東松島市の矢本という駅に降りた一時間後、いきなりあの大きな地震、そしてあの津波に会い、流されたものの命からがらその波から無事に逃げられることができました。



見ず知らずの私を避難所に受け入れてくださり、当時少ししかなかった食料も分けてくださった被災地の方々には、今でも感謝の気持ちでいっぱいです。



私は実家に帰ってから、今自分に出来ることはなんだろうと考え、救援物資を送ったり、義援金を寄付

被災地からの感謝の便り

理事長様

突然のお便りをお許しくださいます。

私は、宮城県東松島市小野市民センターの所長、大友晋也と申します。三月十一日の東日本大震災で大津波に襲われ大被害を受けた地域の一つです。震災後二ヶ月を過ぎた今もおよそ二百人の避難民が当施設で不自由な生活を余儀なくされております。

そんな中、貴東京医療専門学校卒業生菊川大和さん、谷本卓也さん、小菅庸隆さん、井野剛史さん、重吉直永さんの五人がボランティアで当施設にやってきました。

しかしまだ他に出来ることはあるはずだと考えた末、鍼灸あん摩マッサージ指圧師としての技術を使い、まだ避難所で苦勞していらつしやる方々を施術して、少しでも身体を楽にして差し上げたいと思い立ちました。

元クラスメイトの中から私の話に賛同してくれた、私を含め五人がボランティア活動に行くことになりました。他のクラスメイトは義援金というかたちで参加してもらいました。個人的にバックアップしてくださった先生方にも感謝しています。

仲間達からの心のこもった義援金で救援物資を手に入れ、車で宮城県の東松島市のあの避難

設にやっつて参りました。

五月十五日から十七日まで三日間、当施設の避難民のみならず、周辺の地域住民にもマッサージの提供をしていただきました。百数十名の方々がその恩恵に浴し、大感激でした。

素晴らしい卒業生を送り出した「学校法人呉竹学園東京医療専門学校」の教育信条に心から敬意を表したいと思えます。機会がありましたら理事長様からも五人の方に一声かけていただければ幸いです。

最後にになりましたが貴職はじめ貴校の益々のご繁栄を祈念し御礼の挨拶とさせていただきます。

東松島市 小野市民センター 大友 晋也

所に向かいました。

三日間、朝から夜の七時くらいまで施術を行い、約百五十人ぐらの方々に施術を行いました。避難所にいる方々だけでなく、その避難所の近所に住む方々や避難所に随時いる看護師や自衛隊の方々へも同じように、声をかけ施術を行うことができました。



その中には、家の掃除で疲れている方や元々疾患をもっている方、精神的に疲れている方など色々な方がいましたが、施術を終わった後のその方々の笑顔を見て、私達五人も自然に笑みがこぼれました。本当に行つて良かったと実感したひとときでした。

また、近いうちにボランティアに行く予定です。

四谷校舎で防災訓練

七月二十六日(火)、四谷校舎にて教職員の防災訓練を行いました。



三月十一日には東日本大震災があり、未だに大きな余震が続く中、教職員一同例年にも増して防災への意識を高め訓練に望みました。今回は主に火災発生時における対応について訓練を行い、緊急通報時における、災害救急情報センターとのやり取りを、消防署職員の方と実際に電話を使って訓練をしました。また学校に備えている消火器の使い方などを教わるなど、基本的なことですが、災害時におい

災害支援ボランティアに参加して

東京医療専門学校 教員有志

東京都が受け入れ先として提供したランドプリンスホテル赤坂にて、全日本鍼灸マッサージ師会が福島原発地区で被災された方々の施術ケアボランティアを行いました。五月十九日(木)から閉鎖される前の六月二十九日(水)の間、土日も含め毎日十時から十六時に至る長い期間であったため、協力要請を受けた東洋療法学校協会は災害派遣ボランティア派遣特別委員会を発足しました。各校が教員を応援として派遣することになったことを受け、本校からは十名の教員が参加しました。三

十六階にある和室で、一人三十分という制約の中での施術であったため、どれだけの力になれたかは分かりませんが、施術する中で話を聞いたり置かれた状況をかき見たりと、被災者の方々を少しでも身近に感じられたことは、授業その他で現地に赴く事が出来にくい我々教員にとって得難い機会を頂いたと感じた今回の経験でした。



てどの職員でも冷静な対応が出来るように徹底致しました。

被災者・ボランティア関係者などを無償で施術

鍼灸科 平成11年卒業 若林 理砂



3・11。東日本大震災の日。私はあの日、東京目黒にある自らの治療室「アシル治療室」にて臨床の真っ最中でした。当日いらしていた患者が、「ふんばろう東日本プロジェクト [http://fumbaro.org/]」の代表者になるとは、そして私自身が臨床家のボランティア集団を立ち上げることにしようとは思っても寄らないことでした。

震災から1カ月の4月11日。ふんばろう東日本プロジェクトの代表者である早稲田大学の西條先生から「ボランティアが激務で体調を崩しつつある。協力して欲しい。」との依頼を受け、ボランティア・被災者・派遣されている職業人(自衛隊員、警察官、消防隊員等)を被災地入りせず、自らの施術所で初回一回無償施術する臨床家集団「Cure East Japan (キュアイーストジャパン=以下CFJ)と略) [http://cureeastjapan.jimdo.com/]」を立ち上げ、twitterにて参加を呼びかけました。瞬く間に登録臨床家は100を超えました。

CEJの特徴は、鍼灸師のみの団体ではなく、様々な療法の枠を超え、必要な方に必要な施術が届くようにした点です。また、無償施術では受けにくい方向けに「募金施術」として施術を受けた方のお気持ちを受け取り義援金に回すシステムもあります。

既存の患者を抱えて休みが取れず、被災地へ行くことが出来ないけれど、できることを何でもしたい! とお考えの諸先生方、ご登録をお待ちしています。



第25回体育大会を開催

学生も教職員も団結

今年のGWは超大型9連休。その前日の4月28日に第25回体育大会が開催されました。

前日の時点で体育大会当日の天気予報は朝まで大雨…。普通なら前日に中止が決まってもおかしくない天気。しかし、ここまでみんなで重ねた準備を考えると中止はあまりにも残念。体育大会実行委員の学生さん、委員会にも全員遅刻欠席もなく何度も足を運んでくれました。そこでさすが我が呉竹。学校史上初、天候による開始時間2時間遅延が決定しました。翌日、朝起きたらすでに快晴。遅延の必要はなかったかのような初夏を思わせる



日差しの中での開催となりました。30個の「てるてる坊主」を作ってくれた学生さん、学校のマークを好み、クラスのオリジナルTシャツにしている姿に感動、そして何よりみんなの笑顔が見られたことがとても嬉しかったです。体育大会は学生・教職員ともに協力し、団結できる日。来年も乞うご期待!! (体育大会実行委員 教員 早川三千恵)

EVENT

平成23年度 イベント報告

REPORT

卒業生の集い



「卒業生の集い」となるのです。これを機に、新しい自分、新しい出会い、更新なる先生方との交流のある「卒業生の集い」に是非、皆様も参加して頂きたいと思っております。

五月二十九日(日)、今年で二回目の「卒業生の集い」を行いました。「くれたけだより」でインフォメーションしていますが、まだまだ認知度が低いようですが、前回は今年を含み、卒業生の集い実行委員として感じた事は、卒業したら卒業しっぱなしという、学校との関わりを絶つ

ている卒業生が多いということ。卒業生の集いは、久しぶりに会う友との会話があたり、施術で行き詰った方は即先生方に質問出来る場です。とても貴重な時間だと思います。私は本科卒で、柔整科の先生方とは面識がありませんでしたが、この場ではその様な交流もでき、色々と自分の糧となるお話を聞かせていただけるのです。又、呉竹会の先生方や大先輩とお話する機会もあり、勉強会のお誘いまでしていただきました。自分自身のステップアップの場、新しい出会いの場がこの

新たな出会い・ステップアップを

鍼灸マッソージ科平成21年卒業 坂本 実穂

EVENT

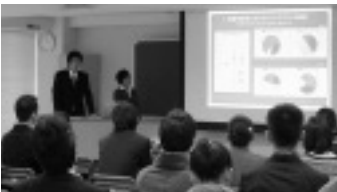
平成23年度 イベント予告

coming soon!!

SCHEDULE

第23回呉竹医学会学術大会

今年度の呉竹医学会は、例年行われている横浜校から大宮校に会場を移し開催されます。大宮校は平成21年に開校し、鍼灸の附属施術所を設けるとともに、西洋医学の診療科からなる『呉竹メディカルクリニック』を附設しております。鍼灸・柔整の資格取得を目指す学業の場としての役割の他に、東西医学を融和させた理想的な医療サービスを提供する場として地域の役に担っております。



今年度は、『生活習慣病予備軍に対する食事と運動の正しい知識』(10時30分~12時)の演題で、慶應義塾大学スポーツ医学研究センター准教授・医師勝川史憲先生が特別講演を行います。生活習慣病の発症には食習慣が大きく関わっており、正しい食情報の判断や栄養の基礎知識が必要です。また、身体を適正に動かさない人に発症することが多いことから、この講演を通して生活習慣病予防の正しい知識を学び、まず自ら実践して頂きたいと思っております。

また、毎年好評の実技セッション・教育講演は、下記の内容にて行われます。

実技セッション 1回目 13:00~14:00 2回目 14:10~15:10

『ベッドサイドで行う簡単テーピング法—治療効果向上を目指して—』『養生と中医学的治療—予防医学としての中医学—』『スポーツ選手の腰痛に対する鍼灸療法と運動療法』『スポーツアロマテクニック』

教育講演 1回目 13:00~14:00 2回目 14:10~15:10

『外傷の外観—柔道整復師の診察の実践—』

実技セッション・教育講演以外にも、教員や在校生が中心となって行う『一般口演』、学生自らが研究発表を行う『分科会』、研修生が行う『症例報告』なども行われます。

今年度も質・量、共に充実した医学会が行われます。大宮校での初めての開催でもありますし、東京校・横浜校の卒業生・在校生はもちろん、入学を検討されている方にも入学後どのような勉強をするのか知る機会にもなりますので、ぜひ足を運んで頂くことを願っております。

第35回呉竹祭



今年も当校のビックイベントのひとつ、『呉竹祭』が10月15日(土)に四谷校舎で行われます。

今年で35回目を迎えますが、毎年、学生達は和気あいあいとし、活気に満ちあふれています。学生達による様々なイベントの他に、古典研究会の発表、また今年度の呉竹祭実行委員本部企画として、昨年に引き続き鍼灸治療による途上国支援活動の紹介なども行います。

また、当校に入学を考えている方や興味のある方などにとっては、学校の雰囲気を味わえる絶好のチャンスです。皆様のご来場、心よりお待ちしております。



ご来場お待ちしております!



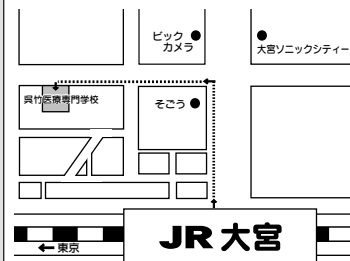
● 第23回呉竹医学会 学術大会

とき: 2011年10月14日(金) 10:30~15:10 会場: 呉竹医療専門学校(大宮校)

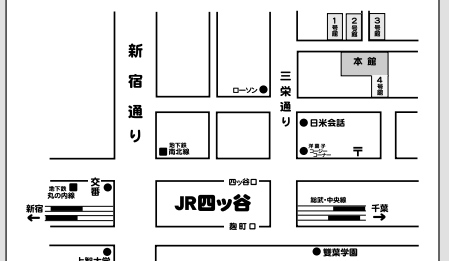
● 第35回呉竹祭

とき: 2011年10月15日(土) 10:00~15:30 会場: 東京医療専門学校四谷校舎(東京校)

呉竹医療専門学校(大宮校)



東京医療専門学校・四谷校舎(東京校)



プロから学ぶ

治療院開業セミナー



当セミナーは①開業に対する姿勢②治療内容の選定③事業計画④物件の選定⑤販売促進活動の五講座に設定し、人材育成のプロである寺原きよみ氏、資金繰りのプロである池田孝行氏、販促のプロである伊藤伸哉氏の三氏により、実例を交えた分かりやすい切り口、ポイントを的確に抑えたメリハリのある話術、双方向性を意識した展開など、プロならではの指導に受講生は釘付けでした。また、進行役は講座の満足度を高めるために、同業者として受講側のニーズを熟知している本校専科卒業、鍼灸治療院「和」院長の水口幸男氏が担当致しました。

このようなセミナーは初めての試みであることから、卒業生のみならず開業を考えている在校生にも受講の機会を与えたことから、多くの学生が参加致しました。

講演会

呉竹学園創立85周年記念講演

スキーンノルディック複合

元日本代表 荻原 次晴氏

平成二十三年七月二十三日 台に活躍されました荻原次晴氏を(土)「呉竹学園創立八十五周年 記念講演」と題しまして、スキーン・ノルディック複合で世界を舞



荻原氏には、鍼・灸・マッサージを中心とした、トレーナーの施術に関する選手側からの見方や意見、また長野オリンピックなど、数々の国際舞台での経験から、大会におけるトレーナーの役割、選手とトレーナーとの関係など、選手の体のケアだけでなく、メンタル面のケアも担当トレーナーの重要性を説いて頂きました。



今回の講演には、「第2回学校説明会」に参加された方々と多数の在校生が参加しました。進路を検討されている学校説明会参加者の方々はもとより在校生の方にとっても、資格がどの様な場で活かせるのかをイメージする良い機会になりました。

呉竹指圧のテクニックをブランド化

『よくわかる指圧テクニック』

—術者の体にもやさしい呉竹指圧—



執筆者：岡本雅典
発行元：医道の日本社
定価4,200円

東京医療専門学校講師(治療院ホスピタール院長)で指圧実技担当の岡本雅典先生が執筆された呉竹指圧の解説書が、医道の日本社より「よくわかる指圧テクニック」の表題で発売となりました。

呉竹指圧は岡本先生の師である榊原豊先生が築き上げた指圧法で、テコの原理を多用することにより、術者の体に疲労が溜まらずに患者の体の深部にまで圧を浸透させることができるのが長所です。本書では、各手技を『立ち位置』『姿勢』『体重移動の方向と量』の3要素に基づいて詳細に解説し、解説文にリンクさせた豊富な写真やイラストで直感的に理解できるよう工夫されています。いずれの手技も、臨床で多くの患者を連続して指圧できるよう『疲れない指圧を行うための5ヵ条』に基づいて解説してあります。



また失敗例の写真も併載しているので、手本の写真と比較すればどこをどう直せば良いのが瞬時に理解でき、指導的立場にある方にも有益です。この書籍を用いて基本を磨き直してください。手技の特徴が活かされ、治療技術も格段と向上することでしょう。



第44回社団法人全国柔道整復学校協会柔道大会

リンク戦1回戦 2-2で引き分け

＜東京医療専門学校＞			＜朝日医療専門学校 岡山校＞		
選手名	勝敗		勝敗	選手名	
大将 石坂 智毅	○	払 腰		岡村 紀亜	
副将 原 大勲		引き分け		川崎 大輔	
三将 坂口 和彦		不戦勝負	○	小田 成二	
中堅 一二三力延	○	内 股		本正 恭大	
五将 黒須 雄也		引き分け		俵原 和茂	
次鋒 永田 裕人		体 落し	○	田口 淳也	
先鋒 水谷 桂祥		引き分け		斉藤 祐太	
補欠 南土居優介					

リンク戦2回戦 2-4で敗退

＜東京医療専門学校＞			＜日本健康医療専門学校＞		
選手名	勝敗		勝敗	選手名	
大将 石坂 智毅		引き分け		金本 正吾	
副将 原 大勲		指 導	○	竹村 春樹	
三将 坂口 和彦		不戦勝負	○	濱村 啓志	
中堅 一二三力延	○	背 負 投		田代 健人	
五将 黒須 雄也		背 負 投	○	山根 正人	
次鋒 永田 裕人		大 外 刈	○	伊藤 隼	
先鋒 水谷 桂祥	○	背 負 投		斉藤 雄介	
補欠 南土居優介					

形 演武

講道館	投の形	選手名
取		山本しおり
受		永井 聡美



八月十一日に綾瀬の東京武道館にて第四十四回社団法人全国柔道整復学校協会柔道大会が行われました。前回の大会では三部リーグで準優勝したため今大会



結果は惜しくも予選突破はなりませんでしたが、他の学校と互角に渡り合えたことは、選手達の自信に繋がったのではないかと思います。来年は今回出場した三年生四人が抜けてしまいますが、新しいチームで上位目指して頑張りたいと思います。

また、今回、形の演武で二年生の山本しおりさん、永井聡美さんが出場し素晴らしい演武を披露してくれました。選手達は、あまり良くない練習環境でありながら、精一杯力を出し切り負傷者もでることなく終えることができました。応援に来ていただきました、緒先生方、関係者の皆様、本当にありがとうございます。深く御礼申し上げます。これからも応援宜しくお願い致します。

(監督 教員 早川幸秀)

海外より 卒業生の報告

ハワイ・ワイキキで整体

中島 竜太 (柔道整復科 平成10年卒業・鍼灸科 平成13年卒業)

2005年にハワイに渡来し、その年の10月ワイキキのカラカウア通りに「Body Massage Clinic Waikiki」をオープンさせ、早いもので6年が経ちました。

私がハワイを選んだ理由は、土地柄癒しの場所であり、恵まれた温暖な気候の中での治療は、とても良い環境である事でした。しかし日本とは違う環境の中で、ビザ、法律、雇用体制等、色々な問題に直面し苦労もしましたが、整体を広めたいと思う夢を現実にする為に、ここまで頑張ってきました。

当初は「整体？」と反対に聞かれてしまう程の認知度の低さに驚きながら、マッサージを中心に整体を織り交ぜながら行うコースを売りに、徐々にお客様にも認めてもらえるようになりました。

実際スタッフ達も整体と言う認識は低く、一から整体を教えるにはかなりの時間が掛かりましたが、今ではスタッフひとりひとりの整体への思いも強く、お客様に喜んで頂けるよう日々勉強をしていますし、私自身も今後経営者として、院長として、スタッフの育成に努めていきます。ここでアメリカの鍼灸事情についてご説明します。アメリカは各州ごとに法律が異なる為、ほとんどのライセンスはテストに合格した州内のみ資格が有効です。アメリカでは、中医学をベースに授業が行われています。日本での鍼灸の学校の場合3年間ですが、ハワイ州では4年間学校に通い、鍼灸師をドクターとして認め、鍼灸と漢方を行えます。卒業後は博士号の称号がもらえます。

2010年11月には2号店となる「Body Massage Kahala」、そしてストレッチを行える「Body Studio Kahala」を、カハラ地区にオープンさせました。美、健康、予防の三つが行えるサロンとして、これからもひとりでも多くの方に喜んでもらえるよう、そして自分の夢に向かって、楽しみながら仕事を続けていきます。

メジャーリーグでパーソナルトレーナー

大饗 将司 (鍼灸マッサージ教員養成科 平成23年卒業)

私は約3年前から西岡剛選手(野球)のコンディショニングをさせていただいています。今年、西岡選手はメジャーリーグのミネソタ・ツインズに入団し、私は彼のパーソナルトレーナーとして2月からアメリカで働いています。

私はトレーナーと言いましても、鍼灸・マッサージに特化したセラピストとしての仕事に重きを置いています。基本、アスリートにとってトレーニングは、疲労を取り除き、より良いパフォーマンスを発揮する為には欠かせません。しかし、それでもいい状態にならない場合に、手助けするのが私の仕事です。

現在、西岡選手以外のチームメイトに対しても鍼灸などをさせて頂く機会をいただいています。鍼灸を経験された選手の方は意外と多く、コンディションが良くなるのであれば施術を受けたいと興味を示している事に驚きました。まだ少しかもしれませんが、アメリカのスポーツ現場で鍼灸のニーズ、可能性を感じています。そして、スポーツだけでなく多くの方に、日本の鍼灸の素晴らしさを伝える事が出来たらと考えています。



第24回上海中医薬大学短期留学報告

中国伝統医学を学ぶ



平成二十三年七月三十日(土) 東京はうす曇りの中、上海に向け

しかし最大の成果は、普段は机を並べることのない四谷・代々木・横浜・大宮校の学生の友情の絆が固く結ばれたことでした。

その他研修中には、中医薬大学主催の歓迎会、大学側のご招待である上海雑技団観賞、書籍店や医薬品店への買い物などいろいろな行事も組み込まれ充実した一週間となります。

全米に広がる鍼灸

学校法人呉竹学園附属 東洋医学臨床研究所 金子 泰久



昨年11月に、全日本鍼灸学会研究部からの要請を受け、Hyatt Regency San Francisco Airportにて開催された、WFAS(世界鍼灸学会連合会)にて一般口演を行った。その際、アメリカ・カリフォルニア州 Acupuncture and Integrative Medicine College、オレゴン州 Oregon College of Oriental Medicine を訪問する機会があり、興味深いお話を聞くことができましたので報告します。

現在アメリカには70校の鍼灸大学があります。アメリカでは鍼灸師のライセンスを取得するためには大卒が条件で、その後、3,000時間程度の教育を受ける必要があります。資格を得るための試験は州によって異なりますが、もともと中医学をベースに教育を行っているため試験科目に漢方の内容が含まれることが多いようです。学費は\$5,000程度、学生は女性の方が多い傾向があります。卒後のキャリアについては「自分で開業」が最も多く、卒業生の平均的年収は約\$60,000とのことでした。

アメリカでは1997年にアメリカ国立衛生研究所(NIH)が「鍼灸治療はいくつかの疾患に有効」との声明を発表してから一般市民に一気に鍼灸治療が広まりました。近年の調査ではアメリカ国内で310万人の成人、15万人の子供が鍼灸治療を受けたことがあるという結果があります。また2010年には米軍が「帰還兵の治療に、鍼灸治療を含むホリスティックな治療を望む」との声明を発表しました。痛みに関する治療については、かなり広い範囲で医療保険の適用を受けることができるようになってきました。一般的な治療費の相場はカリフォルニア州で初診\$75、再診\$45~50程度、オレゴン州では初診料は\$110、再診が\$70~75程度と多少バラツキがあります。全米で約2万人いる鍼灸師のうち、およそ3割強がカリフォルニア州にいることもあり、競争が激しいのかもしれませんが。



平成22年度 卒業生進路状況と就職先分野

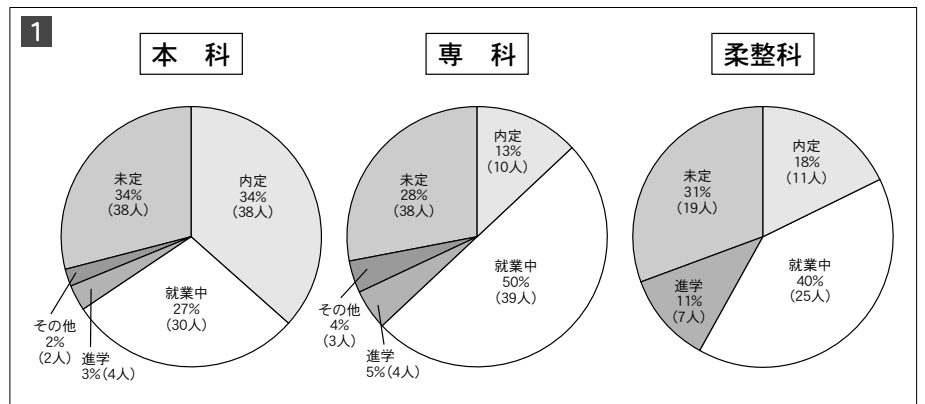
—国試終了後に実施—

東京医療専門学校では、「進路状況と就職先分野に関して」という表題で「進路状況」、「就職先分野」、「将来の開業について」のアンケートを平成20年度より国家試験終了後に実施しています。今号では本年3月に卒業した学生の動向についてお知らせ致します。

1 進路状況

平成22年度の家計試験終了時点で既に就職先内定者は本科が約34%で20・21年度と比較して約2倍になり、専科は約13%でここ3年ほぼ同様です。柔整科は20・21年度が約27%ずつでしたが、22年度は約18%と減少しました。本科の内定率が高いのは在学中にアルバイトとして就職し、そのままアルバイト先を就職先としたことによると推測されます。

就職先未定に関しては平成22年度は本科約34%、専科約28%と20・21年度より低下し、柔整科においては20・21年度が約27%でしたが22年度には約31%とわずかに増加しました。柔整科の学生は、国家試験の結果をふまえてから就職活動を考える学生が増えてきているように思われます。

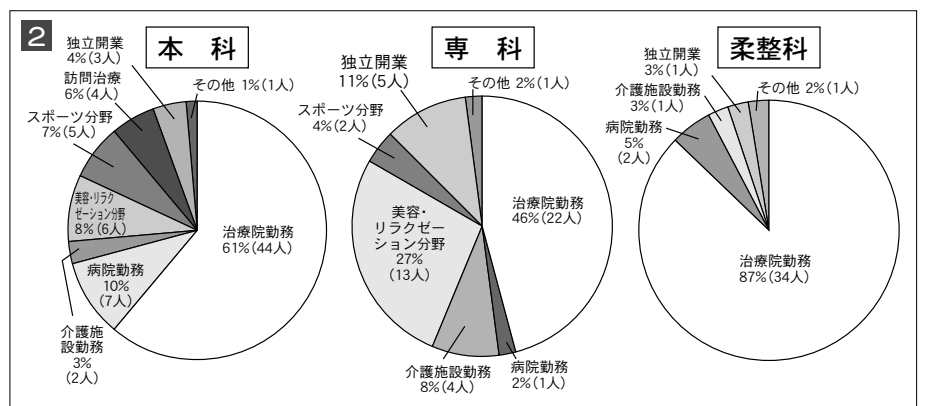


2 就職先分野

これまで行った20・21・22年度の3年間のアンケート調査では就職先として治療院勤務がトップにあげられ、本・専科では3年間の平均で約55~65%、柔整科では20・21年度が約70%であったのが、22年度は約87%と高値を示しました。おそらく、他の分野への就職の減少分がここに吸収されているものと思われます。治療院勤務を除く分野での本専科と柔整科の大きな違いは美容・リラクゼーション分野であり、本専科では平均約10%強が就職先として選択しておりますが、柔整科ではこの分野にはほとんど就きません。このことは資格の面から当然といえます。病院勤務やスポーツ分野への就職は本専科・柔整科いずれも毎年約10%近くを占めておりますが、今年は柔整科では0%でした。

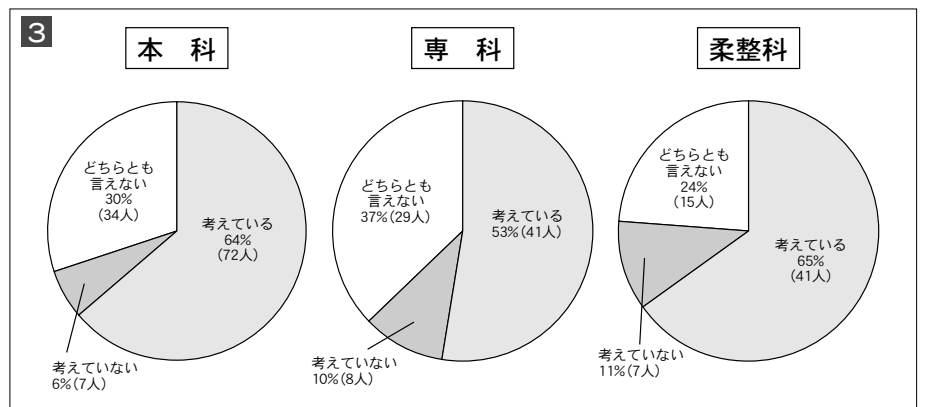
大きな傾向としては本・専・柔共に治療院勤務が大半で、それに続くのが病院勤務、スポーツ分野さらに本専科においては美容・リラクゼーション分野がそれぞれ約10%と続いています。

独立開業は今日の社会状況からいって一段と厳しくなっており、今後も数値は低下するものと思われます。一方、訪問治療(在宅ケア)は今後の高齢化を鑑みると市場は広がっているにも関わらず希望者が少ないのが現状です。おそらく、この分野は治療としての満足度、治療家としてのやりがい十分得られないのではないかと推察します。



3 将来の開業

20・21・22年度の3年間の調査では「考えている」が本専科・柔整科共に半数以上であり、「どちらとも言えない」が約30%で、この両者を合わせると約90%以上が開業に関心を示していることになり、多くの学生が開業権のある医療資格の強みを活かしたいと考えていると思われます。



平成23年度 在校生の就業状況

在校生の就業状況

本校は全学科において2コマ(3時間)の授業でカリキュラムを組んでおり、I部(昼間部)の学生に取っては午後の時間を個々人の都合に合わせて自由に使うことができます。また、そのような教育が本校の特徴でもあります。そこで、実際に、在学中の学生が午後の時間をどのように活用しているのかをI部の本科・専科・柔整科の全学年に就業実態について調査をしたので、その結果を報告します。

1 就業率(パート・アルバイトを含む)

「就業している」は本科約85%、専科約71%、柔整科約86%であり、本・専・柔の平均は約80%でした。すなわち、在校生の約8割が働いていることになります。

2 就業形態(複数回答形式)

本・専科における『柔整治療』は柔整師の資格を持った学生が在籍していることによります。また本・専科ともに手技療法(リラクゼーションなど)が25%超と非常に多いことがわかります。本・専科における「鍼灸治療」とあるのは、あくまでも治療の助手と考えられます。柔整の現場においては業務の特性上、手技療法と合わせて低周波治療などの柔整治療に従事する現状が見えます。柔整科における『鍼灸治療』は、鍼灸の資格を持った学生が在籍していることによります。

